



magazine

VOL.3の内容

各事業所から報告

特集:働くために必要な力とは？

今年は目標を立ててみませんか？





ジョブブロック

月間 REPORT

①定員に対する利用率
78.51% (29.05名)

②現在の登録者数
36名

③登録解除者数
0名

④登録者に対する利用率
80.69%

⑤新規登録者数
0名

⑥一般就労者数
0名

⑦年代別割合

10代：1名 20代：7名 30代：7名 40代：11名 50代：7名 60代：3名

⑧障がい別割合

身体：5名 知的：7名 精神：18名 発達：6名

⑨月間コメント

2020年、皆さんはどのような一年だったでしょうか。2020年はコロナによる未曾有の一年となり、皆さんも意識や生活が大きく変わったと思います。不安が伴う毎日ではありましたが、人への思いやりが普段以上に垣間みえるなど、例年では得られなかった思いもたくさん感じられました。せっかく得た良い思いやりは続けたまま2021年を過ごしましょう！



ジョブロック新さっぽろ

月間 REPORT

①定員に対する利用率
93.1% (18.62名)

②現在の登録者数
22名

③登録解除者数
1名

④登録者に対する利用率
80.95%

⑤新規登録者数
0名

⑥一般就労者数
1名

⑦年代別割合

10代：0名 20代：6名 30代：6名 40代：4名 50代：5名 60代：1名

⑧障がい別割合

身体：3名 知的：13名 精神：5名 発達：1名

⑨月間コメント

新たに施設内作業が始まり、利用者さんも施設外就労とは違う刺激を受けながら、作業に取り組んでいます。12月はロジサービスさんのお仕事が繁忙期に入りますので、怪我なく乗り切ることができたらと思います。



ジョブロッックファクトリー

月間 REPORT

①定員に対する利用率
117.38% (23.48名)

②現在の登録者数
28名

③登録解除者数
0名

④登録者に対する利用率
83.84%

⑤新規登録者数
0名

⑥一般就労者数
0名

⑦年代別割合

10代：4名 20代：8名 30代：7名 40代：3名 50代：3名 60代：3名

⑧障がい別割合

身体：4名 知的：13名 精神：7名 発達：3名 その他：1名

⑨月間コメント

12月に入り、肉を加工するお仕事も忙しくなっています。

うがいや手洗い、換気をしっかり行い、少しでも良い気持ちで年末を乗り切りたいですね。



ジョブブロック環状通り東

月間 REPORT

①定員に対する利用率
79.25% (15.85名)

②現在の登録者数
21名

③登録解除者数
0名

④登録者に対する利用率
75.48%

⑤新規登録者数
0名

⑥一般就労者数
0名

⑦年代別割合

10代：0名 20代：5名 30代：7名 40代：6名 50代：2名 60代：1名

⑧障がい別割合

身体：3名 知的：3名 精神：8名 発達：5名 その他：2名

⑨月間コメント

施設外就労先も繁忙期に入り、新たに機械を使った作業なども増えました。
また、1月からは新規の施設外就労先も決まり、新規の利用者の方々も募集
しますので、お問い合わせや見学依頼をお待ちしております。

特集：「働くために必要な力とは？」

○職業準備性とは・・・

働くために備えておくべき基本的な能力のことで大きく5つの分野に分かれます。

①健康、体調、病気の管理

- ・服薬、通院がきちんとできる。・自分の障害の理解ができる。
- ・体調不良時の対処ができる。

など

②日常生活の管理

- ・家事洗濯ができる。・朝決まった時間に起きれる。
- ・社会性（生活の中のルールを守る）がある。

など

③対人技能

- ・挨拶ができる。・共同で作業ができる。
- ・感情のコントロールができる。

など

④基本的労働習慣

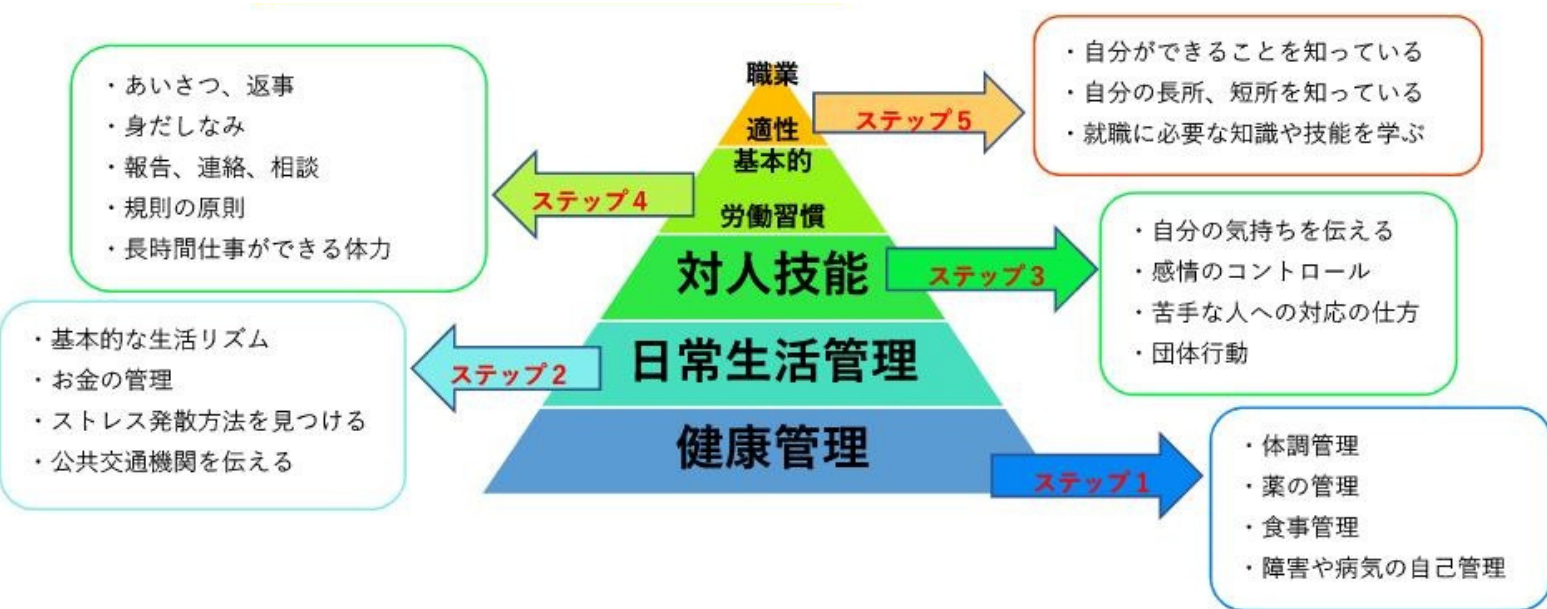
- ・安定した出勤ができる。・欠勤時の連絡ができる。
- ・長時間働くことができる。

など

⑤職業適性

- ・作業の変化に対応できる。・指示が正確に理解できる。
- ・自分の作業能力を自覚できている。

など



自分が今どの段階にいるかを把握することで、「何がたりないのか」、

「どうしたら良いのか」を考え、高めていくことで安定的に働ける力をつけていきましょうというのが職業準備性の考え方です。

職業準備性を考え仕事をしていると、いつもの作業が一般就労に向けて、とても大切だということに気付かされると思います！



今年は目標を立ててみませんか？

皆さんは1年の目標を立てていますか？

目標を立てている方も続けることが難しいと断念することも多いと思います！
どうせ目標を立てるなら達成したい！！

その1つに「SMARTの法則」というものがあります。

Specific（具体的）

目標には具体的なことが大切です。それだけに向かって何をしたら良いのか、
こういった行動をとったら良いのか次のアクションに繋がります。

<例>ダイエットをする！

どのレベルまで痩せたいのか具体的な目標達成への意識を高め行動に導いてくれます。

Measured（測定可能な）

数字として測定であること、振り返りができることが大切です。感覚値での達成状況の
把握ではなく、数字として把握すると良いです。

<例>半年後まで－5kg痩せる！

測定可能な目標を立てることがポイントです。

Attactive（達成可能）

達成が不可能な目標に到底とどきそうもない目標を立ててしまうと、どうせ出来ないと
諦めてしまうことに繋がります。小さな目標を立てると良いです。

<例>毎日30分歩く、間食をしない！

段階的にステップアップして本来の目標に繋げていくことが大切です。

Realistic（現実的で結果志向）

また現実であるかを判断することが大切です。自分の状況をみて達成が現実的でない
目標になってしまいます。自身にプレッシャーを与えては意味がないので要注意です。

<例>この目標を叶えれば理想に近づける。

目標達成が自分にとって現実的かどうかのチェックが大切です。

Time-related（期限が明確）

期限を設定をしなければ「明日はやめよう」「良い時期がきたら始めよう」とすると行動
に移すことが先延ばしになる可能性があるので期限を決めましょう。

<例>2021年6月30日まで

いつまでにその目標を達成するのが期限を明確にすることが大切です。

SMARTは目標を具体的にし期間も明確、どの程度こういったことをすれば
目標達成に届くか、わかりやすいため目標を立てるときに有効です！

今年は是非ためしてみてください！

